

『誰か』のことじゃない。

12月4日～10日は人権週間、12月10日は人権デー

◎問い合わせ 総務課 秘書広報係 ☎37-0088

人権とは「人間が人間らしく生きていくために認められている権利」であり、誰もが生まれながらに持っている、誰からも侵されることのない権利です。

私たちが暮らす社会には、いまだに不当な差別や人権問題が、多数存在しています。

誰もが安心して、幸せに暮らしていくために、見知らぬ「誰か」のことではなく、身近に起きている問題として人権について考えてみませんか。

人権デー・人権週間

昭和23年12月10日、第3回国際連合総会で「世界人権宣言」が採択されました。このことから12月10日を「人権デー」と定め、日本では、その日を最終日とする1週間を「人権週間」として世界人権宣言の意義を訴え、人権尊重思想の普及高揚のための啓発活動が全国各地で行われています。

新型コロナウイルス感染症 普段の何気ない行動で「誰か」を傷つけていませんか？

新型コロナウイルス感染症の発生から2年が経とうとしています。この間、残念ながら、感染者や濃厚接触者、その家族、医療・福祉関係者をはじめ、社会生活の維持に必要な仕事をしている人たちが、いわれのない誹謗中傷、いじめや差別的な対応を受けている状況が見受けられてきました。これらは、重大な人権侵害であり、決して許されることではありません。

新型コロナウイルス感染症に対して、不安に思う気持ちは誰にでもあります。誰もが不安な気持ちを抱えている時だからこそお互いを思いやり、「誰か」を傷つけないよう、冷静な行動を心掛けることが大切です。

考えよう 相手の気持ち 未来へつなげよう 違いを認め合う心から

新型コロナウイルス感染症以外にもさまざまな人権課題があります。こうした課題を正しく理解し、差別と偏見のない社会にしていくことが大切です。

①女性～性犯罪・性暴力・DV・ハラスメント～

今なお「女性だから…」という人がいます。女性というだけで社会参加や活躍の機会が奪われることはあってはなりません。

②子ども～いじめ・体罰・児童虐待・性被害～

いじめや体罰、児童虐待、児童ポルノ等の性被害など、子どもが被害者になる事案が後を絶ちません。子どもも一人の人間として最大限に尊重され守らなければなりません。

③高齢者

虐待や地域からの孤立が課題となっています。高齢者がいきいきと暮らせる社会の実現を目指して、高齢者への理解を深め、大切にすることを育てることが必要です。

④障がいのある人

物理的な障壁だけでなく、障がいへの無理解から生まれる偏見や差別、就職や生活に関わる制度的・慣行的な障壁も存在しています。

⑤感染症～HIV・肝炎・ハンセン病元患者等～

新型コロナウイルス感染症のほかにも人権課題となっている感染症があり、正しく理解されない結果として、偏見や差別に苦しんでいる人がいます。

⑥部落差別（同和問題）

歴史的な過程で作られた人々の意識に起因する差別であり、わが国固有の人権問題です。同和地区出身という理由だけで就職・結婚等において差別される事案が発生しています。

⑦アイヌの人々

アイヌの人々は、北海道を中心とした地域に住む先住民として、独自の生活様式と文化を持っていますが、近世以降の施策により、生活基盤や文化を失い、さまざまな差別を受けてきました。

⑧外国人

文化・価値観・生活習慣等の違いや外国人であることを理由とした不合理な扱いや差別が発生しています。また、近年特定の民族や国籍の人々を排斥する差別的言動（ヘイトスピーチ）が社会問題になっています。

⑨路上生活者（ホームレス）

社会的要因等から路上生活を余儀なくされている人たちがいます。路上生活者に対して、嫌がらせや暴行等の事案が発生しています。

⑩刑期を終えて出所した人

住居の確保や就職が困難であることなど、社会復帰を目指す人々にとって厳しい状況があります。更生のためには、本人の強い意志だけではなく、周囲の人々や地域の理解と協力が必要です。

⑪犯罪被害者等

直接的な被害のほかに、興味本位の噂や心ない中傷により傷つけられたり、プライバシーが侵害されるなどの二次被害を受けることがあります。

⑫インターネットによる人権侵害

スマートフォンなどの普及により、インターネット上で、匿名性や情報発信の安易さから、プライバシー侵害や名誉棄損など、さまざまな人権侵害が発生しています。

⑬北朝鮮当局による拉致被害者等

北朝鮮当局による日本人拉致は我が国に対する主権の侵害であり、重大な人権侵害です。この問題の解決は国民的な課題であると同時に国際社会全体で取り組む課題であり、関心と認識を深めることが解決に向けた大きな力となります。

⑭性的指向・性自認（性同一性）

性的指向は、恋愛や性愛の方向を示すもので、性的自認とは、自己の性をどう認識しているか示す性概念です。それぞれ、周囲からの偏見や差別に悩み、苦しんでいる人がいます。

⑮人身取引

性的搾取・強制労働等を目的とした人身取引は基本的人権を侵害する深刻な問題です。国は「人身取引対策に関する関係省庁連絡会議」を設置するなど、国を挙げて防止に向けた取り組みを行っています。

⑯東日本大震災に起因する人権問題

平成23年3月11日に発生した東日本大震災は多くの人々が避難生活を余儀なくされ、今も避難している人が多数います。避難生活では、平時と異なる生活を強いられる中で、避難所でのプライバシー侵害や犯罪行為等が発生し、女性や高齢者等への配慮が課題となりました。

被災地や被災者に対する、風評に基づく偏見、心ない嫌がらせ等も報告されています。

人権に関する相談機関

法務局

みんなの人権110番	☎0570-003-110	平日8時30分～17時15分
子どもの人権110番	☎0120-007-110	平日8時30分～17時15分
女性の人権ホットライン	☎0570-070-810	平日8時30分～17時15分
外国人人権相談ダイヤル	☎0570-090-911	平日9時～17時
インターネット人権相談	https://www.jinken.go.jp/	24時間受付

佐賀県

人権啓発センターさが	☎0952-25-7229	平日9時～17時
------------	---------------	----------

神崎市

人権擁護委員が相談をお受けします。

人権擁護委員とは…人権擁護委員法に基づき、人権相談を受けたり、人権の考えを広めたりする活動をしている、民間ボランティアです。現在、法務大臣からの委嘱を受け、14,000人の人権擁護委員が全国の市町村に配置されています。神崎市でも8人の人権擁護委員が市民の皆さんの人権を守るための積極的な活動をしています。

神崎市の人権擁護委員（敬称略）

神崎町	實松 常夫、福田 省二、糸山 孝子
千代田町	田中 清則、光野 重洋、佐藤 悦子
脊振町	野口 一義、森崎 ひずる

人権相談 12月の相談日は 32ページをご覧ください。	本庁舎	原則第3金曜日13時～16時
	千代田庁舎	原則第3火曜日13時～16時
	脊振庁舎	原則第3金曜日9時～12時



人権イメージキャラクター 人KENまもる君

人KENおひらめちゃん

交通安全の願いを込めて 横断旗を寄贈

10月14日



市の民生委員・児童委員を務められている、宮地数義さん(神埼町利田・写真中央)から、子どもたちが悲惨な交通事故に遭わないようにと願いを込めて1,000本の横断旗を寄贈していただきました。

宮地さんは「目立つように蛍光色を選びました。子どもたちに安心して横断歩道を渡ってほしい」と話され、市長は「市内の横断歩道に設置させていただきます」とお礼を述べました。

生理の貧困解消へ 小中学校に生理用品贈る

10月5日



鳥栖法人会神埼支部から「市内の児童生徒に使ってほしい」と生理用品288袋を寄贈していただきました。

いただいた生理用品は、市内の小中学校や放課後児童クラブに配り、トイレや保健室に置いて、いつでも使えるようにしています。

経済的困窮といった理由で生理用品が買えないことが社会問題化するなか「子どもたちに安心して生理用品を使ってほしい」という鳥栖法人会の思いを、大切にしてほしいと思います。

日本語の美しい 響きが神埼に

10月16日



第18回美しい日本語暗唱・朗読大会がはんぎーホールで開催されました。市内小中学校の代表23人が、暗唱・朗読・中学生の部に分かれ、日頃の練習の成果を発揮しました。

審査の結果、暗唱の部は千代田西部小4年山邊詩乃さん(千代田町原の町)、朗読の部は神埼小5年藤大徳さん(神埼町本堀)、中学生の部は脊振中3年宮田優さん(脊振町広滝東)が最優秀賞に選ばれました。

今年度は、規模を縮小して行いましたが、来年度は、多くの児童生徒に参加していただきたいです。

ボランティア清掃 駅や公園 綺麗に

10月10日、26日



秋の行楽シーズンを前に市内の団体が駅や公園の清掃活動を実施されました。

10日に神埼ライオンズクラブと神埼高校の生徒20人が神埼駅北口ロータリーで、26日に神埼市老人クラブ脊振支部が高取山公園で、草刈りや清掃を行いました。

各団体の皆さん、ありがとうございました。



Facebook アカウント名:くねんニャン
<https://www.facebook.com/kankoukankazi/>



Instagram アカウント名:くねんニャン【公式】
<https://www.instagram.com/kunennyann0501/>

三谷地区で採れた芋を 仁比山保育園に贈る

10月23日



神埼町三谷地区では、保育園や福祉施設向けの農作物収穫体験活動を通して地区を盛り上げようとさつま芋の栽培を行っていましたが、8月の大雨災害の影響で収穫体験は中止となりました。

しかし大切に育てた芋を食べてもらいたいという地区の人々の思いから、収穫した芋を仁比山保育園に届けました。

神埼市を魅力ある街に 中学生が未来計画提案

10月17日



市内中学生の代表9人が「さが未来発見塾」で作成した神埼市の未来計画を、市長に提案しました。

佐賀新聞社が、人づくり応援企画としてスタートさせた「さが未来発見塾」は、中高生が自分の地域の魅力や課題を学び、未来計画を作成し提案するという取り組みです。

神埼市では、中学3年生9人が、8月からワークショップや現地取材を通じ、神埼について考えていきました。

未来計画には「桑菱ミルクティーの商品化」や「災害時の情報活用」など5つのプランが示されており、これからの神埼市をよりよくするための提案がなされました。

この経験を大切に、将来の神埼市を担う人材に成長されることを心から願っています。

神埼市チャレンジデー 2021

10月27日



神埼市チャレンジデー2021が開催され、今回は広島県北広島町と対戦しました。

市では市内一斉のラジオ体操放送や卓球交流会、野球教室などを開催しました。

また、個人でも多くの方に参加していただき参加率は57.3%(参加者17,903人)となり、北広島町(45.4%)に勝利し、見事金メダル(参加率55%以上)を獲得することができました。

ぜひこれからも定期的に身体を動かし、健やかな毎を送りましょう!

参加していただいた皆さん、ご協力ありがとうございました。

こすもす苑と千代田東部小 プレゼント交換

10月18日



こすもす苑デイサービスセンター(千代田町詫田)の利用者と千代田東部小学校の児童によるプレゼント交換が行われました。

こすもす苑の利用者はえんぴつや雑巾を、小学生はメッセージボードや手作りのおもちゃなどをプレゼントしました。

こすもす苑と千代田東部小学校は毎年交流を続けており、今回は新型コロナウイルスの影響で利用者全員で小学生と交流をすることはできませんでしたが、利用者の内川トクさんは「みんなとお喋りしながらプレゼントを作ることができたのでとても楽しかった」と話しました。

「新型コロナウイルス感染者の減少と年末年始を迎えて」

昨年からは、新型コロナウイルスに振り回された年でありました。現に、市民福祉部健康増進課内のワクチン接種対策室においては、ワクチン接種の実施に向けた諸調整と実施対応に気遣いが多かったことです。以前にも紹介しましたが、第1回目のワクチン接種においては、関係者が優先接種することとされ、次いで65歳以上の高齢者、次に64歳〜16歳まで、さらに12歳以上までとされるように、その時点で対象者が拡大されてきました。ワクチンの供給量は十分にあるとの国の報道がなされていましたが、現実には滞ることになるなど、いろいろな課題が派生し、その都度、関係者にご心痛をおかけしました。

しかし、神崎市では、市郡医師会のご理解とご協力によって、集団接種はスムーズに進めることができました。また、その後の個別接種におきましても、市内病院等のご協力によって、円滑に進めることができました。このことから、

11月1日現在の接種者数と接種率は次表のとおりとなっております。また、陽性率の市町順位は次のようになります。

	全人口	接種者	65歳以上人口	接種者	12歳以上人口	接種者	12歳～64歳人口	接種者
1回目	31,262	23,664	9,776	9,285	28,175	23,664	18,399	14,379
接種率(%)		75.7%		95.0%		84.0%		78.2%
2回目		22,890		9,129		22,890		13,761
接種率(%)		73.2%		93.4%		81.2%		74.8%

(人口：令和3年1月1日現在)

順位	市町	陽性率	順位	市町	陽性率	順位	市町	陽性率
1	唐津市	1.08%	8	吉野ヶ里町	0.618%	15	白石町	0.38%
2	鳥栖市	1.05%	9	上峰町	0.58%	16	大町町	0.36%
3	基山町	0.98%	10	小城市	0.55%	17	鹿島市	0.353%
4	佐賀市	0.713%	11	多久市	0.47%	18	有田町	0.349%
5	神崎市	0.707%	12	武雄市	0.46%	19	嬉野市	0.33%
6	玄海町	0.68%	13	江北町	0.43%	20	太良町	0.22%
7	みやき町	0.621%	14	伊万里市	0.42%			

※人口当たりの陽性者数（陽性者数は令和3年11月9日現在、人口：令和3年1月1日現在）

のようになっています。神崎市は10月まで4位でしたが、11月に入り佐賀市と順位が入れ替わりました。

なお、今日まで、業務を進める中で、教育委員会担当職員および保育園担当職員から、毎日

のように、関係する市民の発熱とPCR検査の報告を受け「陰性」の報告に安堵し、「陽性」の報告には、すぐに家族感染はどうか、心配と対応対応はなどと、思いがめぐっています。年末年始を迎える時期となり、第5波をもって、収束することを願うばかりです。

国からは、今後の第3回目のワクチン接種が言われていますが、2回目の接種から8カ月の経過が必要とのことから、神崎市は年明けからの接種となります。これまで同様に皆様のご理解とご協力をお願いし、医師会はじめ関係者の重ねてのご協力をお願いしてスムーズに取り組んでまいります。

皆さんには、今年の仕上げとともに、健康で新年をお迎えしていただきますようお願い申し上げます。令和3年の「市長の部屋」を閉じさせていただきます。

(11月10日記)

神崎市長 松本 茂幸

市長交際費の公表

(令和3年10月分)

項目	件数	支出額(円)
弔慰	0	0
御祝	2	8,000
激励	0	0
会費	0	0
見舞い	0	0
その他	0	0
計	2	8,000

夜の市長室

どんなことでも構いません。皆さまの声をお聞かせください！

○今後の予定

とき	ところ
12月7日(火)	千代田交流センター
1月4日(火)	脊振交流センター

18:00～20:00(1組30分程度)
当日は来庁順です。

◎問い合わせ 総務課 秘書広報係 ☎37-0088

11月の神崎市役所開催分は、1組1人でした。

※お住まいの地区に関係なくお越しいただけます。

※荒天などの場合は、開催の有無をお問い合わせください。